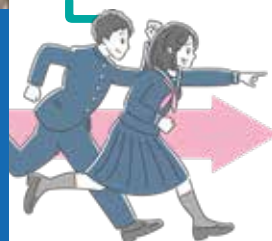


「小諸のまちを歩き、魅力に触れ、未来を考える！」

企画課 企画調整係



【7月】 市政について、小諸市長から学ぶ

小泉市長を体育館に招き、「ウエルネスシティ 信州小諸 -小諸からはじめる地方の時代-」と題した講演会を開催。1学年の生徒(132名)は、市長の熱い想いを感じつつ、小諸市が目指すまちづくりの現状と課題を学び、小諸市を考えるきっかけとなりました。

【10月】 街なかフィールドワーク

市長講演、インタビュー取材の研修、マーケティングに関する学習を踏まえ、主に通学で利用する小諸駅周辺でフィールドワークを実施。市街地の歴史ある店舗、新規店舗それぞれについてマーケティングの手法を用いてインタビューを敢行し、企業や商店の生き残り戦略を学びました。

店舗の魅力、味や商品、そこで働く人の姿を知ること、普段通り過ぎるだけで見過ごしていた場所、小諸のまちをあらためて見つめ、学びを深めました。12月には校内選抜されたグループによる活動発表会も行われました。(左写真)

小諸高等学校の取り組み

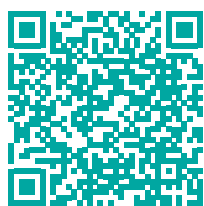


小諸散歩マップは、市役所、図書館、小諸駅 及び 取材先店舗などにご用意しております。ぜひ、ご覧ください。



小諸商業高等学校・小諸高等学校と小諸市が連携して地域活性化や地域に貢献できる人材を育成することを目的とした「小諸未来義塾」。平成28年度から始まり、今年度で7回目となりました。

感染症対策という観点もあり、両校合同での活動というわけにはいきませんでした。各校がそれぞれのテーマを設けて取り組み、「小諸のこと」「未来のこと」を考える機会となりました。



両校は令和8年に統合され、新しい高校が誕生します。ぜひご注目ください。

これまでの小諸未来義塾→

小諸商業高等学校の取り組み



※別途、昨年度より活動を行ってきた現2学年生徒による活動報告の場として、課題解決に向けた市への提言も予定。

【10月】 総合的な探究 ～フィールドワークを通じて小諸散歩マップを作ろう～

市内店舗や観光スポットへの訪問、インタビューを通じて、身近な地域への興味関心を高め、地域が抱える諸課題について学びを深めることを目的に、1学年普通科生徒がフィールドワークを実施。

取材先検討に始まり、アポ取り、十分な事前学習を行い、また商工会議所の塩川秀忠会頭(当時は副会頭)による講演も踏まえ、小諸のまちを見つめ直しました。

フィールドワークにあたっては、懐古園や図書館、まちタネひろば等の各チェックポイントで与えられたミッションをクリアするという要素も取り入れたことで、楽しく学ぶひとときとなりました。